

市民が政策で県議会議員を選ぶための情報をお届けします。

千葉県議会議員選挙の立候補予定者に公開質問しました。

ご参考にしてください。(原文をそのまま掲載・五十音順・敬称略)

きさらづ市民ネットワーク

立候補予定者 質問項目	大野 としゆき	高橋 ひろし	もり がく
Q1 最重要課題は何と考 えて立候補を決意され ましたか。	まだまだ木更津市における諸課題は山積されています。その一つ一つの課題について、県に対して、はっきりと物を言える、存在として、県と市のパイプ役になることが、本市の発展に大きな影響があると考えた為。	アクアライン普通車800円の恒久化を目指す事。 昨年、県議会においては、定数検討委員会が設置されましたが、4年前と同様、先送りとなりました。国民が消費税の値上げも含め大変な生活をしている中、それを司ってきた議員の責任としてまずは議員自ら身を削るべきであり、定数95名から、63名、報酬1470万円から800万円に大幅に削減するべきと考えます。 そうする事により議員が危機意識を持つ事により、1兆7000億円の予算執行が良い方向になると考えます。	① 子育て世代が魅力を感じる街づくり ② 安心して暮らせるまちづくり ③ 高齢者に優しいまちづくり ④ 中小企業の経営基盤の強化 ⑤ 一次産業の振興 今回の千葉県議会議員選挙に立候補するにあたり、上記の5項目を重要政策として掲げました。特に①について、子育て世代が無理なく子どもを産み、育てる為には相応な賃金、安定した雇用、地域の見守りが必要です。そのうえで「妊娠・出産・子育て」と切れ目のない支援をする為の保育環境の整備をすることが重要だと考えています。中でも一時預かり事業の拡充など様々な家庭のニーズに対応した環境の整備に努めることで、子育て世代が魅力を感じるまちづくりに邁進します。
Q2 千葉県の児童虐待数は増えています。その背景には、DVや貧困、孤立した子育てがあります。困難を抱える子どもたちを、守り育てるためにどのようにお考えですか？	行政のかかわりは大事ですが、家庭の中までふみこめない実態もあります。 公務員がもっと権限を持つ、行政能力を発揮できるように改革し、取り組むべきと考えます。 子どもを守るのは大人、行政、人間としての基本であると強く感じています。	児童相談所に寄せられた児童虐待の相談件数は、平成22年度で55,152件と増え続けています。 家庭・地域の養育力の低下や児童虐待の認識の広まりがあると考えますが、子育ての問題を抱える家庭を支援したり、虐待は起こっている場合でも、早めに子どもの保護をすることと思います。	虐待を受けた子供達は体の外傷だけでなく、心理的にも、情緒的にも大きな傷跡を残します。また、親はしつけのつもりでも、結果的に子供の成長・発育に問題があれば、それは虐待であると考えます。大人の視点でなく、子供の視点に立って考えることが大切であると思っています。地域で暮らす子供たちには慣れ親しんだ場所での見守り、地域の人々の子供たちへの温かいまなざしが何よりの救いになります。相談できる場所、安心して食事のできる場所等、その一つ一つが子供たちの笑顔や生きる喜びに繋がっていくものと考えています。 家庭で、地域で、学校で、自治体で、すべての子供たちが共に成長していける社会環境創りのアクションを起こしていくことが必要であると考えます。子供の貧困の根本の原因は子供たちにあるわけではありません。しかしその影響は確実に子供たちに及んでいます。貧困により、表層化する引きこもり・虐待・いじめ・孤立といった諸問題を解決の方向に導くために、当事者となってしまう子供達の自己肯定感を少しでも高め、子供たち自身が未来により希望の持てるように、教育、福祉の分野でより良い子供時代が過ごせるような施策を行っていく必要があると考えています。
Q3 全国2番目のスピードで高齢化が進む千葉県。「寝たきり、ゼロ」に向けて在宅介護・在宅看護を充実させることが望まれます。総合診療専門医をどのようにお考えですか。	必要性は感じますが、営利目的だけ(商売)にされている悪質な業者もいます。 行政・判断、調査、指導をおこたらないように、看視をすることも大事だと思います。そのうえで必要・大事と感じます。	総合診療専門医は地域で活躍する重要な医師となると思われ、必ず必要と考えます。	これからの高齢者の医療・介護需要に対応する為に地域包括ケアシステムの構築が各自自治体で進められております。早期構築を期待するとともに、私も全力で支援する所存です。今後の超高齢化社会では、これまで以上に在宅医療の充実が必要であると考えます。 急速な高齢化、複数疾患を抱える患者の増加を踏まえ、総合診療専門医の必要性が高まっていることは私も認識しています。総合診療専門医にかかわる議論はこれまでもいろいろとありますが、地域が必要としているのは、総合的な医療と介護の知識を併せ持ち、地域において医療・介護サービスを一体的に提供できる医師であると思います。在宅医療を推進すると共に身近なところいつでも入院できる病院の整備等も必要であり、自宅や居住系施設、介護施設など、どこにいても医療が適切に確保できるようにしていく事が重要なことと考えます。

立候補予定者 質問項目	大野 としゆき	高橋 ひろし	もり がく
Q4 千葉県は・看護師不足が深刻です。どのようにお考えですか。	公の看護学校だけでは限度があるため、高校からアクティブスクールなど、仕事として指導して、看護師になるようすすめる。とくに男子は必要です。医師は、他県から千葉県へ来ていただくため、地方の医学部のある大学と何らかのコネクションをもって、医師の確保につとめることも大事です。	千葉県の医師、看護師数は全国でも下位の位置にあります。人数を増やす必要があります。	医師、看護師の確保は急務です。2025年にピークを迎える超高齢化社会では千葉県内で医師が最大1170人、看護職員（介護施設従事者や保健師、助産師含む）も最大で1万5150人不足すると予測されています。医療スタッフ不足の背景にある、現在の労働条件の過酷さを改善すること、また予防医療、健康を増進させる体操など、地域で行える様々なイベントへの取り組み（特に高齢者に対する）を進めていくことが必要と考えます。
Q5 県内には自衛隊の基地が9か所ありますが、木更津市はオスプレイの整備拠点となります。住民の安全についていかがお考えですか。	オスプレイの配置については、国策である為受け入れなければならないと思います。しかし、住民の安全、安心は当然第1に考えるべきです。対策はきちんと明確にしていきたい、やってもらいます。	国民の生命と財産を守るためには自衛隊は必要です。均衡ある負担であるべきと考えます。	昨年10月、国から陸上自衛隊木更津駐屯地への米海兵隊オスプレイおよび陸上自衛隊導入予定であるオスプレイの定期機体整備計画について木更津市に申し入れがあり、整備時期は、米海兵隊は平成29年以降、また陸上自衛隊は平成36年以降と伺っています。国の安全保障については、日米安保体制の基で国が判断する内容ですが、オスプレイの安全性や騒音等環境への影響を懸念する方々もおります。このため住民の安全については、海側飛行ルートへの遵守を求めるなど、市民が不安を抱くことなく、また市民生活に支障がきたすことがないよう、出来る限りの情報提供、徹底した安全対策と環境への最大限の配慮を国に求め、住民の安全安心を守っていくことが重要であると考えます。
Q6 教員は、子どもに夢を与える職業の一つでもあります。公立小中学校では、何年も非常勤講師（1年未満の勤務で毎年契約）で働いている教員もいます。このことについていかがお考えでしょうか。	県の一次採用試験が勉強の点数だけで、処理されます。これだけでは、真の教育者を発掘はできません。特色を持った人間（スポーツ、文化）一芸に秀でた人の採用を強くのぞみます。	県財政のこと、また少子化による公立小中学校の統廃合の関係も考えながら教員の待遇について考えていかなければならないと思います。	講師には非常勤の講師と常勤の講師がおりますが、例年、各地方自治体に様々な立場の講師が配置されます。産休育休代替講師や療養休暇代替講師は、その制度上致し方ないと思いますが、本来正規教員を配置すべき学校に、教員が足りないために配置されている講師（定数内欠員補充講師）はできるだけなくし、正規教員を配置すべきと考えます。
Q7 放射性廃棄物処分場を県内に建設するという国の方針がありますが、どのようにお考えですか。	まず、安全の確保!! どこにでも危険なもの、汚いものは自分のところには持ってきてほしくないでしょう。しかし、公平、平等で、しかも安全を確保できれば、国策にのっとって従うべきでしょうが、人が住んでいない地域、千葉県外に確保してお金をかけてでもつくるべきです。	日本に原発が稼働している以上、さける事ができない事を考えます。少しずつ再生可能エネルギーにシフトし、将来的には原発依存を止めるべきと考えます。	指定廃棄物（1Kg当たり8000Bqを超える物）は、最終処分場建設の遅れにより、現在一時保管されております。しかし、その状況が逼迫しているところから、国は早期に処理を行う為に、最終処分場を一時保管されている各県内に建設する方針を決めました。一方、放射性物質の発生地である福島県内に、最終処分場を建設すればよいのではないかとの意見がある事も承知しておりますが、東日本大地震に起因する原発事故で最大の被害を受け、現在も苦しんでいる福島県にこれ以上の負担を強いることは、同じ日本国民としていかなものかと考えます。そのため本県で発生した指定廃棄物を処理する為の最終処分場を県内に建設するという方針は正しい判断だと思います。
Q8 その他、あればお考えをお書きください。	政治は困っている人を助けていくのが、本来の姿と強く思います。耳ざわりのいい話をして、選挙の票を人気取りのために使っていることは、私の納得がいきません。私は6期24年の経験を活かし、木更津の為に汗をかき、泥をかぶり働きます。有権者の方もきちんとみていただいて応援をしていただきたいと思います。政治家の質の向上、有権者の質の向上をお願いします。選挙の時、自分がやった私がやりましたという人は信用できませんよ。見ている人はきちんと見ていてくれると信じて戦います。		

千葉県議会議員選挙 投票日 4月12日（日）

きさらづ市民ネットワーク 代表 金井珠美

木更津市議会議員選挙 投票日 4月26日（日）

木更津市八幡台3-4-8 電話 36-0677